

今月の
テーマ

秋田県の統計資料による生活設計

統計資料というのは実に様々なものがあり、こと秋田県においては他の都道府県とは異なる特色が見えてくる。統計などという何だか小難しいことのように思われるかもしれないが、これが結構面白いものだ。統計を否定的に言われる方もいるが、使い方や解釈の仕方を間違えると、おかしな方向になってしまいかねないことも事実だ。

統計資料は、広範囲な調査・集積・蓄積されたデータを分析することにより、これまで見えていなかつたり、気づかなかつたことが、客観的な事実として見えてくる。いわゆる「見える化」することにもなる。しかし、知ること自体が目的ではないので、そこから見えてくる課題と問題解決の行動につながっていかなければならない。辞書の解釈的な言い方をすれば、統計・調査データ、いわゆる数量的に測って得られる数値を、どう判断し、どう利用するかの方が問題なのである。

例をいえば、殆どの方が毎年受診する健康診断にしてもそうだ。血圧の当年の数値を知るだけではなく、昨年・一昨年と時系列で比較し、安定しているのか上昇しているのか、はたまた標準値と比較してどうなのかの判断をしなければならない。さて、問題はこの先だ。健診そのものが目的ではないし、結果を知ることだけでもない。上昇傾向にあるのであれば、その原因究明とその後の対策を取り、異常値であれば病院を受診し、改善方法や治療方針を立てる必要が出てくる。しかしながら、職場健診を義務的に受け、再検査などの指摘を無視している輩もいる。私の知る限り、決して少なくないようだ。健診における目的は健康維持・増進が目的なのだが。そこの貴方、心当たりは…?

あらっ、若干こじつけ脱線をしてしまったが、今月は秋田県の統計データに学ぶがテーマだ。

つぶやき
がんちゃんの

生活に何かと役立つ連載コラム

生活知恵袋

せいかつちえぶくろ

Vol. 126

● 統計とは

統計とはいつたいて何者なのだろうか…? 例によって統計を辞書で調べると、統計とは「人・物・出来事の、ある集団について、その特性を数量的に測って得られる数値」とあった。分かつた様な、分からぬ様な…! 私たちの暮らしの周辺にあるあらゆるものに、統計によるデータが存在すると…言つても良い。では統計によって得られた結果をどのように利用すればいいのだろうか…? 20000万円問題のように、報告書の中から文脈を無視し、一部分だけを抜き出してしまって、どこかの国会のような騒ぎになってしまいかねない。統計データの持つ意味と、その根底にあるものを知らなければ正しい理解も有効な活用も出来ない筈なのだが…。そして、「統計」を考える上では側面の「情報」や「データ」も欠かせない。自分の立ち位置を、統計データと比較するだけでも新しい発見がある。我が家は常識が、秋田県の常識が、日本の常識がどういうポジションにあるのか? 他者と対比させての相対比較が必ずしも良いとは言わないが、人様と何が違う何が優れているかを、客観的に捉えることは可能だ。統計データは実際に面白いものがある。それぞれの家計の収支は十人十色で、それが正しか否かという問題ではないが、やり繩りに問題を抱えていて、何が他と違うかを統計データに重ねることだけで見えてくることもある。未知との遭遇もあるかもしれないのだ。



こちら

保険と暮らしの相談センター

“ご加入中の火災保険は大丈夫!?”

近年、局地的な豪雨や落雷、竜巻、異常な大雪などにより家屋や家財の損害が増えております。現在ご加入中の火災保険でしっかりと対応できますか?
ぜひ補償内容をチェックしてみましょう!!

お気軽にご相談ください。

TLS 株式会社 トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

● 営業時間 / 9:30~18:30

(土・日・祝日は9:30~17:00)

● 定休日 / 水曜日

TEL 018-827-7611

FAX 018-827-7610

URL <http://tls-akita.co.jp>



詳細はホームページでもご覧いただけます。

統計データあらかると

一口に統計と言つても、実に多方面・他分野にわたる。人口統計、経済指標、労働・雇用統計などの代表格のみならず、理美容院の数やカップラーメンの消費金額のデータなどなど実に多彩だ。身近なものの購入金額における秋田県の順位を見ると、高級品のメロン2位、牛肉3位、ご飯の消費量は意外や意外46位だ。因みに、“1日に結婚するカップル1663組（年間60万組）”、“1日に離婚するカップル580組（年間22万組）”。そんな中で、秋田県の離婚率は44位と大健闘、秋田県の夫婦は仲が良いのか、はたまた我慢強いのか：（失礼）。飛行機、電車、船、自動車の中で、最も事故にあう確率の低いものは飛行機で、私たちの暮らしで最も身近な自動車での死亡率は最も高い。さらには他の乗り物とは違い、相手の命をも奪つてしまふことにもなりかねないということだ。だから、自動車保険の必要性が高い。とまあ、こんな具合に統計データは利用されるのだ。このように、統計は私たちの暮らしにおけるあらゆる分野で収集分析され公表されている。たかがデータと言わず、積極的に利用することで、その価値は決して少なくはない。活かすも殺すも、その人次第だ。

●秋田県の金融リテラシー

表1.(3) 行動・考え方等に関する特徴

		項目			(%)		
		全国	東北	秋田県			
家計管理	緊急時に備えた資金を確保している人の割合	54.4	49.9	47.3			
	1か月の支出を把握している人の割合	72.6	73.9	71.6			
	期日に遅れずに支払いをする人の割合	84.4	83.6	84.6			
生活設計	お金について長期計画を立て、達成するよう努力している人の割合	48.0	47.4	50.2			
	老後の生活費について資金計画をたてている人の割合	34.9	33.2	30.2			
金融知識・金融商品の利用選択	生命保険加入時に他の商品と比較した人の割合	57.5	51.6	54.4			
	借入れ時に他の商品と比較した人の割合	54.0	55.3	54.4			
	資金運用を行なう際に他の商品と比較した人の割合	67.0	65.5	59.1			
	消費者ローンを利用している人の割合	4.8	6.0	10.4			
	お金を借り過ぎていると感じている人の割合	12.8	15.2	17.4			
	株式を購入したことがある人の割合	32.2	23.5	23.4			
	商品性を理解せずに投資信託を購入した人の割合	31.3	32.4	50.0			
外部知見の活用	商品性を理解せずに外貨預金等を購入した人の割合	26.0	37.9	41.7			
	金融トラブル発生時の相談窓口を認識している人の割合	72.2	73.7	78.1			
	金融経済情報を月に1回もみない人の割合	38.6	39.6	34.3			
金融教育	「学校で金融教育を行うべき」と思っている人の割合	67.2	68.2	62.2			
	学校等で金融教育を受けた人の割合	7.2	7.0	6.0			
行動バイアス	損失回避傾向が強い人の割合	77.3	79.7	83.1			
	近视眼的行動バイアスが強い人の割合	47.1	51.7	56.7			
	横並び行動バイアスが強い人の割合	16.7	18.0	18.4			

【家計管理】

緊急時に備えた資金を確保できている人の割合だが、全国平均を7・1ポイント下回っている。一方、期日に遅れずに支払いをする人の割合は、反省することが多い中にあって、全国平均を上回っている。秋田県民の真面目・勤勉さが光る部分だ。

【生活設計】

“お金について長期計画を立て、達成するよう努力している人の割合”は上回っているのに、老後の生活費について資金計画をたてている人の割合になると逆に下回っており、努力と計画が矛盾する結果となっている。

【金融知識・金融商品の利用選択】

“消費者ローンを利用している人の割合”は大きく上回っており心配な点だ。そして、“商品性を理解せずに投資信託を購入した人の割合”と“商品性を理解せずに外貨預金等を購入した人の割合”とともに平均を大きく上回っている。勧められるがままに契約に至っているとすれば、慎重さが足りていないのか、秋田県民の人的好さが表れているのか、胸に手を当てて考えねば…。

●自分の立ち位置を知る

“灯台下暗し”。自身のことは分かっている

消費税が10%になり、キャッシュレスでのポイント還元もあって、急速にカード利用が増えているようだが、その問題点を考察する

ようでも、実は分かっていないものだが皆さん是如何だろうか？！家計の収支にしても、消費における行動にしても、ごく当たり前のよううにとつていてる行動が、良くも悪くも他者の行動やデータと比べると大きな違いがあつたりする。“違ったって何が悪い”と叱りを受けそうだが、年齢や家族構成、所得もそれぞれに違うし、はたまた価値観の違いもあるのだから、違った、あるいは、自分性だ。満足感も幸福感も幸福感も人それぞれに定義があつて、他人と比較して優劣を判断するものは決して違う。しかし、多くの家計を見ていると、収支ややり繰り方法に問題があり、その異常な違いに驚かされることもある。収支が赤字の連続だったり、借金が増え続けてる場合は、他者の家計やデータに学ぶことの意味は大きい。全ての結果には、原因・理由が存在している。それが何なのか？自身の立ち位置を知るには、統計・データを知り、人の意見などを聞く効果は大きい。「人の振り見て我が振り直せ」、謙虚な姿勢で学びたいものだ。

●来月号は

消費税が10%になり、キャッシュレスでのポイント還元もあって、急速にカード利用が増えているようだが、その問題点を考察する